第１回 黒部駅西側出口整備等利便性向上基本構想推進協議会議事録

１　開会

２　委員紹介

３　挨拶（副市長）

４　会長の互選

５　協議事項

・事務局から協議第１号「黒部駅西側出口整備等利便性向上基本構想に係る重点整備地区等の設定」について説明

【以下、質疑応答】

委員長　現地のまち歩き点検でも気付かれることが多々あると思うが、これまでの黒部駅周辺に対して疑問、意見を出していただけたらと思う。

委員　高齢者、障がい者の立場からすると、現状では苦痛があると思う。そのためにも、バリアフリー化は避けて通れない不可欠な取組だと思う。

是非、早急にバリアフリー化を推進していただきたい。取組について、段階や手順を踏んで、多くの高齢者、障がい者に利用してもらえる公共交通や施設の改良をしてほしい。今後とも、本構想について具体的に取り組んでいただきたい。

委員　資料 p.15、17 の図を見ると、駅東側のことばかり書かれている。駅西側には支援学校、道の駅 KOKO くろべ等、主要な施設があるのに何も書かれていない。駅西側に出入口を作る目的を明確にするためにも、駅西側についても書いたほうがいいのではないか。

事 務 局　駅東側に重点が置かれた図となっているため、次回から駅西側に出入口をつくる目的が明確になるよう、資料に反映させたい。

委員　重点整備地区の設定に関し、順序立てて設定されているとは思うが、駅西側に生活関連施設はないのか。もしあるのであれば、それらも考慮する必要があるのではないか。駅東側にデイサービス、黒部市民病院などがあるが、これらは考慮されているのか。

事 務 局　駅西側は現状、工場、田が広がっており、生活関連施設はない。まちづくりのひとつとして、駅西口を整備するに当たり、駅西側エリアの土地利用についても今後検討していく必要があると考えている。駅東側のデイサ

ービス、市民病院等については、参考とした高齢者移動圏の 500m を超えるエリアであり、少し距離があることから、今回は外している。

なお、重点整備地区を定めるために、高齢者徒歩圏の 500m を設定しているが、高齢者徒歩圏外についてもバリアフリーに配慮していく。

委員　本基本構想についても、策定して終わりということではなく、検証含め、拡大、エリアの見直しもしっかり取り組んでいただきたい。

委員　p.8 の用途地域区分の中で、駅西側がほとんど工業用地であるため、難しい部分もあると思うが、用途地域の変更検討も含めて、黒部駅を中心としたコンパクトシティ、人が集まるような施策も進めていく必要がある。

バス、鉄道といった、公共交通の利便性が十分に発揮できるよう、駅西側へのつながりも検討し、高齢者、障がい者等、いろんな方々が利用できるよう施策を進めていただきたい。例えば、災害があった際、駅西側から駅東側へ抜けられるような通路の整備も現段階から考えていってほしい。

事 務 局　駅西側については、土地利用についても今後検討していく必要があり、必要に応じて、用途地域等の見直しも一つの手法かもしれない。また、バスについて、現在は駅東側が拠点となっているが、駅西側の今後の土地利用によっては、駅西側の公共交通網の整備も検討していく必要があると考えている。市のまちづくり方針でもあるが、「コンパクトかつ公共交通等ネットワークが充実したまちづくり」を目指して進めていきたい。

委員　駅西側に住む方々にとって、津波等の災害が起きた際は、駅東側に逃げる必要があるが、現状は地下道一本しか逃げるすべがない。今回、駅西口の検討がされている中で、西から東へ徒歩で移動できる避難路ができれば、駅西側の方々が駅東側へ逃げる避難ルートが確保でき、アクア黒部や市民病院といった大規模施設へ避難することもできる。こういったことも考慮し、事業を進めていただきたい。

委員　頂いたご指摘に対しては事務局の方で加筆修正をして頂く。事務局から提出されている協議第１号「黒部駅西側出口整備等利便性向上基本構想に係る重点整備地区等の設定」について、承認しても良いか。

それでは、協議第１号について承認します。

６　その他

・特になし

７　閉会